

デジタル版 すいせん図書 第236回 令和5年8月






長野県図書館協会小中学校図書館部会で、県内の小中学校の先生方が何百冊もの本の中から厳選したすいせん図書です。  
このすいせん図書は長野県優良図書研究所であっせんしますので、ご利用ください。

★ すいせん図書 その1 ★

小学校低学年(1・2年)向け

書名	著者 出版社 発行年 定価(税込)	内容・書評  ISBN・NDC
<p>がっこうかっぱの生まれた日</p> 	<p>山本 悦子(作) 市居 みか(絵)</p> <p>童心社 2023年2月 1,320円</p>	<p>かっぱと戦争で疎開してきた少女ちよとの物語。戦争で家族を失った悲しみや苦しみが描かれており、低学年でも戦争や平和について考えるきっかけになりそうな本である。しかし、重苦しい本ではなく読んだ後にあたたかい気持ちになれる作品である。</p> <p>9784494020799 ・ 913</p>
<p>かがみのなかのボクとぼく</p> 	<p>あんず ゆき(作) くすはら 順子(絵)</p> <p>文研出版 2022年12月 1,320円</p>	<p>主人公はわがままでいじわるな男の子。みんなと仲良くなりたいと思いつつ感情をコントロールできずにいる。そんな彼が不思議な体験をすることで素直になっていく姿が描かれており、読み手の共感を得ることのできる作品となっている。</p> <p>9784580825628 ・ 913</p>
<p>がっこうのてんこちゃん はじめてばかりでどうしよう! の巻</p> 	<p>ほそかわ てんてん(作)</p> <p>福音館書店 2023年3月 1,210円</p>	<p>初めてのことが苦手で、緊張すると頭の中にどうしようオバケが現れるてんこちゃん。自己紹介や茶色いお弁当でドキドキするけれど、そのたびにクラスの仲間と一緒にいて不安がなくなっていく。心配しなくても大丈夫と感ずることができる。</p> <p>9784834087048 ・ 913</p>
<p>2番めにすき</p> 	<p>吉野 万理子(作) 高橋 和枝(絵)</p> <p>くもん出版 2022年11月 1,430円</p>	<p>ネコの学校に来た転校生の発した「ベストフレンドというのは一番仲良しのお友だち!」という言葉から物語が始まっている。友だちに順番ってあるのかな、友だちって何だろう、と考えるきっかけを与えてくれる作品となっている。</p> <p>9784774333212 ・ 913</p>
<p>漁師犬タロウ</p> 	<p>尾崎たまき(作)</p> <p>新日本出版社 2023年2月 1,870円</p>	<p>漁師犬タロウは、飼い主のキンちゃんと一緒に船にのり、タコ漁のお供をしていた。しかし、2011年3月11日、タロウは津波にさらわれた。タロウは9日間歩き続け、飼い主のキンちゃんの元に帰ってきた。再びタロウは船に乗り、命を全うする。</p> <p>9784406067089 ・ 645</p>

小学校中学年(3・4年)向け

書名	著者 出版社 発行年 定価(税込)	内容・書評  ISBN・NDC
<p>ぼくちの震災日記</p> 	<p>佐々木 ひとみ(作) 本郷 けい子(絵)</p> <p>新日本出版社 2023年2月 1,650円</p>	<p>大地震により、水も、暖房も、食べ物もない中で、友樹とその家族が生きるためにがんばった日々を描いたお話です。苦しい中でも周りを気づかい、力を合わせて生きていく家族の温かさや、そんな家族を見てがんばる、友樹の成長を感じられます。</p> <p>9784406067058 ・ 913</p>
<p>いつか空の下で さくら小ヒカリ新聞</p> 	<p>堀 直子(作) あわい(絵)</p> <p>汐文社 2022年12月 1,650円</p>	<p>ある日、あすかは養鶏場のかたすみで、傷ついたニワトリとであった。処分されるはずだったニワトリを助けたことで、あすかはこの養鶏場でおこなわれていた現実を知る。「ニワトリのしあわせとは、自分たちにできることは」あすかは新聞を書くことに。</p> <p>9784811329826 ・ 913</p>
<p>保護ねこ活動 ねこかつ！ ずっとのおうちが救えるいのち</p> 	<p>高橋 うらら(文)</p> <p>岩崎書店 2022年10月 1,430円</p>	<p>「保護ねこカフェ ねこかつ」を運営する梅田達也さんの保護猫活動を、保護された猫の視点で描くノンフィクションです。様々な保護猫問題の事例を通して、命を扱うことの重さや、猫と人との幸せな在り方を考えさせられるお話です。</p> <p>9784265840328 ・ 645</p>
<p>体育委員はなやみすぎ (青空小学校いろいろ委員会 4)</p> 	<p>小松原 宏子(作) あわい(絵)</p> <p>ほるぶ出版 2023年1月 1,430円</p>	<p>体が弱く運動が苦手、みんなの顔色をうかがってばかりのトモくんが、4年1組の体育委員に立候補し、委員の仕事を通して自信を得て、自分らしく過ごせるようになるお話です。トモくんが一生懸命仕事をし、自信をつけていく姿が素敵です。</p> <p>9784593103683 ・ 913</p>
<p>図書委員は泣かない (青空小学校いろいろ委員会 5)</p> 	<p>小松原 宏子(作) あわい(絵)</p> <p>ほるぶ出版 2023年2月 1,430円</p>	<p>本を読むことが大好きなシオリのあだなはホン子。図書委員になりしあわせだった。ある日、2年生の男の子が図書室にやってきた。ホン子は、その子にある絵本を読み聞かせをした。それから毎日その子はやってきた。2人の温かくなるお話です。</p> <p>9784593103690 ・ 913</p>

小学校高学年(5・6年)向け

書名	著者 出版社 発行年 定価(税込)	内容・書評  ISBN・NDC
<p>ペンタとニック</p> 	<p>風野 潮(作) 吉田 尚令(絵)</p> <p>文研出版 2023年4月 1,540円</p>	<p>いなくなった飼い猫のニックを探す中で、主人公が周りの人々と関わりながら成長していく温かな物語。人が生まれて育つのは当たり前ではないということ、人は多くの人との関わりの中で生きているということに気づかされる物語である。</p> <p>9784580825680 ・ 913</p>
<p>草の背中</p> 	<p>吉田 道子(作) さげさか のりこ(絵)</p> <p>あすなる書房 2023年3月 1,540円</p>	<p>「生きること」の意味を教えてくれる、心あたまる物語である。主人公と祖母の日々の関わりの中で、「言葉」が大切な役割を果たしている。祖母の言葉や本・詩の引用から、よりよく生きるためのヒントやエールをもらえる物語である。</p> <p>9784751531372 ・ 913</p>
<p>手で見るぼくの世界は</p> 	<p>櫻崎 茜(著) 酒井 以(絵)</p> <p>くもん出版 2022年11月 1,540円</p>	<p>視覚支援学校の寄宿舎で生活する様々な視力視野の障がいを持つ子どもたちが、思春期の多感な時期を大人になる過程、社会へ出ていくための方法を身につけるべく成長していく物語。友達に助けられ救われ、また友達のために何ができるのか探る心情が心に染みます。</p> <p>9784774333809 ・ 913</p>
<p>すき、好き、スキ。</p> 	<p>イノウエ ミホコ(作) ふうき(絵)</p> <p>文研出版 2023年4月 1,650円</p>	<p>小学6年生のワトは、ミニバスチームOBの高校生の翔也くんが好き。同じバスケットボールチームの男子、胡汰も翔也くんが好き。2人の好きが同じとは限らない。いろいろな「好き」について考えるきっかけになりそうな本。</p> <p>9784580825703 ・ 913</p>
<p>グレタ・タウンベリ みんなで止めよう! 気候危機</p> 	<p>トレイシー・ターナー(著) トム・ナイト(絵) 飯野 真由美(訳)</p> <p>文溪堂 2023年2月 1,650円</p>	<p>みんなで止めよう、気候危機! グレタは、わずか15歳にして、気候変動対策を求めた一人のストライキを始め、たくさんの若者をふるいたたせた。気候危機とは何か、グレタが何を成し遂げたのか。さあ、グレタと一緒に見ていこう!</p> <p>9784799904589 ・ 289</p>
<p>あらわれしもの</p> 	<p>最上 一平(著) ささめや ゆき(絵)</p> <p>新日本出版社 2022年12月 1,650円</p>	<p>過疎の村、握集落での人々の暮らしを描いた、人間味あふれる温かな物語である。身の周りに存在する食べ物や生き物に、会えない人の姿や思い出を重ねる登場人物たち。命の儚さや、目に見えないものの大切さを教えてくれる物語である。</p> <p>9784406066969 ・ 913</p>



中学生向け

書名	著者 出版社 発行年 定価(税込)	内容・書評  ページ数・規格・NDC
<p>コレラを防いだ男 関寛斎</p> 	<p>柳原 三佳(著)</p> <p>講談社</p> <p>2022年12月</p> <p>1,540円</p>	<p>幕末、かかれば3日で死んでしまうというコレラと戦った医師の話です。手指の消毒、ソーシャルディスタンスなど、コロナに関係するところも多いです。中でも迷信を信じて疑わない“人々の心”との戦いも大変だったのだと思わされました。</p> <p>9784065293409 ・ 913</p>
<p>ディス・イズ・マイ・トゥルース わたしの真実</p> 	<p>ヤスミン・ラーマン(著) 代田 亜香子(訳)</p> <p>静山社</p> <p>2023年1月</p> <p>2,090円</p>	<p>有名な獣医師の父、優しい母、幼くかわいい弟と暮らすアマニには、親友のフーダにも言えない秘密があった。そして、素敵な養親に愛されて暮らすフーダにも、アマニには言えない秘密があった。その秘密を互いが知ったとき、友情は？ 暮らしは？</p> <p>9784863897298 ・ 933</p>
<p>おとなになれたら</p> 	<p>ニキ・コーンウェル(作) 渋谷 弘子(訳) 牧野 鈴子(絵)</p> <p>文研出版</p> <p>2022年12月</p> <p>1,650円</p>	<p>学校に行くことが当たり前と思っている子どもたちに、素直な表現で分かりやすく読むことができる一冊です。内乱、労働、難民等、言葉だけでなく12才の女の子の生き方を通して現実の生活として知ってほしいことばかりです。異国で差別を受けながら強く生きていくのは、難しい…。</p> <p>9784580825710 ・ 933</p>
<p>ハーベスト</p> 	<p>花里 真希(著)</p> <p>講談社</p> <p>2023年4月</p> <p>1,650円</p>	<p>3人だけの園芸部。植物を育てることで仲も深まり、自分らしくいられる関係になっていきます。「自分には居場所がない」「自分は誰からも必要とされていない」と不安に感じたことのある人に読んでもらいたい物語です。</p> <p>9784065305805 ・ 913</p>
<p>バスを降りたら</p> 	<p>眞島 めいり(著)</p> <p>PHP研究所</p> <p>2023年2月</p> <p>1,320円</p>	<p>「仲良くなりたいのではなく、私はあの人みたいになりたい?」「自分が落ちた中学校の子と、毎日同じバスになるなんて…」中学1年生の奈鶴と律。学校のこと、勉強する意味、人との出会い…。ふたりの交差を軸にそれぞれの物語が動き出す。</p> <p>9784569881010 ・ 913</p>

学習図書

書名	著者 出版社 発行年 定価(税込)	内容・書評  ISBN・NDC
<p>地球の中に、潜っていくと…</p> 	<p>入船 徹男(著) 関口 シュン(絵) 福音館書店 2023年1月 1,430円</p>	<p>宝石鉱物からなるマントルや鉄でできている地球の核など、映像では見ることのできない地下深くの世界。地震波の観測や超高压実験から得られた研究成果が、地底旅行をする2人の小学生の目を通して、わかりやすく紹介されている。  9784834086911 ・ 450</p>
<p>昆虫生きざま図鑑 虫に学ぶ生きぬくヒント</p> 	<p>谷本 雄治(著) 三田村 敏正(監修)  Z会 2022年12月 1,100円</p>	<p>昆虫独特のおもしろい生態を知りつつ、人間の生活や道徳に置き換えてとらえていて、社会で生きていくためのヒントを楽しく学ぶことができます。これまでと違った視点で昆虫たちをみつめることで、新たな発見がありそうです。  9784862904119 ・ 486</p>
<p>差別ってなんだろう？ 1巻 差別はいま、ここにある</p> 	<p>好井 裕明(著)  新日本出版社 2023年2月 3,630円</p>	<p>差別というものが一体どういうものか、イラストも入って、分かりやすく説明されている。差別はいけないものということは子どもたちもよく分かっているが、本の中で区別がどのように差別へ変わっていくかも書いてあり、納得できる。  9784406067416 ・ 361</p>
<p>差別ってなんだろう？ 2巻 性別や性のあり方にかかわらず</p> 	<p>好井 裕明(著)  新日本出版社 2023年3月 3,630円</p>	<p>差別というものが一体どういうものか、イラストも入って、分かりやすく説明されている。差別はいけないものということは子どもたちもよく分かっているが、本の中で区別がどのように差別へ変わっていくかも書いてあり、納得できる。  9784406067423 ・ 361</p>
<p>差別ってなんだろう？ 3巻 国や文化、生いたちがちがっても</p> 	<p>好井 裕明(著)  新日本出版社 2023年3月 3,630円</p>	<p>差別というものが一体どういうものか、イラストも入って、分かりやすく説明されている。差別はいけないものということは子どもたちもよく分かっているが、本の中で区別がどのように差別へ変わっていくかも書いてあり、納得できる。  9784406067430 ・ 361</p>
<p>おとな体験授業？</p> 	<p>なかがわ ちひろ(作)  アリス館 2023年3月 1,650円</p>	<p>将来の自分を思い描く子どもたち。あれこれやらなきゃと不安もあるし、なりたい職業が決められない子もいる。「おとな体験授業」を通して、思い描いていた大人像(職業)でなくてもやってみたら意外とおもしろい！ そんな気分になれる。  9784752010579 ・ 913</p>
<p>じぶんでできた! お弁当の本</p> 	<p>杉崎 聡美(著) 竹下和男(監修)  ほるぷ出版 2023年1月 3,960円</p>	<p>学校の行事の中に「お弁当の日」がある中、レシピとしてだけでなくお弁当について学ぶことができる。まんがのようになっているため、読みやすく分かりやすくなっている。  9784593103119 ・ 596</p>